

熊本いいくに会第9回企業塾

開催日時:2006年5月25日(木) 19:00~20:30

開催場所:熊本市図書館ホール

講師:平成音楽大学学長・教授 出田敬三先生

演題:素晴らしい音楽との出会い~出田敬三の世界~

演奏者:オーボエ...田愛彦氏 ソプラノ...福嶋由記氏 ピアノ...白石由子氏

参加者:約60名

今回で9回目となる企業塾。ピアノの演奏やオーボエ、ソプラノ歌手が登場するなど、いつもとは趣向の違う形での開催となりました。音楽がいかに自分達の生活に密着しているかを、分りやすい例えを元に、平成音楽大学出田学長にお話をいただきました！

今回企業塾を行ったのは熊本市図書館ホール。いつもの会議室とは雰囲気が違い、本格的な「ホール」での講演会兼演奏会となりました。会場に入れば正面にグランドピアノが！一体どんな講演・演奏を聴くことができるのか楽しみです！



様々な過去の経験や想いの背景には、必ず音楽がある！と、音楽と自分達の生活がいかに密に関わっているかを、いろんな歌や事例を交えてのお話。「90分の講演、長いですよ！皆さん覚悟してくださいね！」と、笑いが出るようなジョークを言いながらも出田学長は皆さんを惹きつけてお話を始められました。

全国でトップクラスのソプラノ歌手 福嶋由記さんの「おぼろ月夜」は、いかにも情景が思い浮かびそうでした。

日本の歌で一番大切なことは「何を歌っているか」だそうです。よく外国の歌を歌っている歌手でも、何を歌っているか分からないが声はとにかく良いという歌手の方もいらっしゃるとのこと。日本の歌の場合は、きちんと情景が思い浮かべられるような歌い方をする歌手がトップクラスだと、福嶋さんが聴かせて証明してくださいました！



さて、次は子守唄と童謡のお話。今はあまり歌われなくなってしまった子守唄。子守唄を知らないというお母さんが増えているそうです。童謡は、全ての言葉を3分以内で伝えてしまわなければならないというルールの下に作られるそうです。

皆さんも、いろんな事例を交えながらのお話に、真剣に聞き入っています！なかなか聞くことの出来ない演奏とお話に夢中ですね！



さて、次はいよいよ本題に！いかに音楽が私たちの生活と密着しているかを様々な音楽とたとえ話によって分りやすくお話していただきました！国歌や結婚式に使われる音楽などの効果音的な音楽。またテレビCMで使われる音楽など、現在はテレビの社会で音楽が出来るといっても過言ではないほど、テレビや携帯電話といった電子機器まで、音楽なくてはありえないのです！



その時その時の場面に合った音楽、BGMも、生活によく密着していますね。スーパーやデパートに入って音楽が流れていなかったらどうでしょう？また、居酒屋でモーツァルトが流れていたら？パチンコ店ではなぜテンポの速い曲が流れているの？など、BGMがもたらす効果についても、分りやすく教えていただきました！

カントリー音楽は皆さんご存知ですか？もっとも有名な作曲家は「フォスター」。耳に気持ちよく残る数々の名曲を残しています。その中からみなさんもよくご存知の「夢路より」を歌っていただきました！心が落ち着く、まさにカントリー音楽ですね！



「オーボエ」という楽器についても紹介していただきました！何を演奏されるのか・・・と思いきや、みなさんもよくご存知「津軽海峡冬景色」！出田学長のピアノ伴奏とオーボエの主旋律で、見事なマッチアップでした！オーボエ奏者上田氏は演奏しながら客席に降りてきてくださるサービス振りに皆さんも拍手！！

オペラやミュージカル、映画音楽についてもいろいろとご紹介していただきました！総合芸術と呼ばれるこの音楽は、資金、時間、そして何より情熱と想いがないと完成しないと言われています！そしてそのオペラの舞台を開催されます！開催されるのはモーツァルトの「魔笛」。晩年に作成されたオペラです。いろんなアレンジが加えられているオペラ、お時間のある方は是非見に行かれてくださいね！



最後はみなさんで大合唱！「お～い、お～いと呼んでみよう」でおなじみの「おもいで宝箱」を、皆さんで斉唱しました！このような機会、なかなかありませんでしたね！みなさんも音楽に乗って大きな声で、元気な声で歌いました。音楽に関するいろんな知識や感じ方を教えてくださいました、出田学長をはじめ演奏者の皆さんも、ありがとうございました！

さて、いつもとはちょっと趣向の違った企業塾はいかがでしたか？これからも、熊本いいくに会の経営者の皆さんの講演兼懇親会を、企業塾として定期的で開催してまいります！皆さまのご参加を、心よりお待ちしております！次回は、6月26日(月) 熊本学園大学坂本学長を講師としてお迎えいたします！